

「変えてはいけないこと」当社には、将来の生活や子ども、孫のために長期的な資産形成に取り組む方々が多くいらっしゃいます。長期的な資産形成は、マラソンと同じで強い向かい風の時でも追い風の時でも、しっかりとした自分のペースを保つことが重要です。途中で歩いても、水分補給をしても構いませんが、リズムを乱すダッシュなどは禁物です。先日、当社セミナーに参加されたお客さまに対し新聞記者の方がインタビューをされました。「アベノミクスによる資産価格効果で、消費を活発化していますか？」との質問でした。有名企業の幹部の方や、OL、主婦の方が参加されていましたが、全員が「資産価格効果は出ているが、ぜひランチ代を少し上げることがあるくらいで、消費には回さず、将来の生活設計に向けた資産形成を継続します。」との趣旨の回答でした。加えて「消費に回すことは給料が上がって初めて考える。」と。景気や市場の変動に柔軟に対応しながらもその軸はブレない素敵なお客さまに安心しています。代表取締役社長 伊井哲朗

4 月 末 の 状 況 (資産の内訳については、マザーファンドの状況を記載しております)

設定来の運用実績



基準価額		純資産総額				
17,932 円		33 億 9,241 万円				
分配実績	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期		
	120 円	130 円	0 円	200 円		
資産の内訳		割合				
株式 (30 銘柄)		86.9%				
うち日本株式		100.0%				
うち海外株式		0.0%				
現金等		13.1%				
2013 年 4 月末お客様の状況						
顧客数		3,341 人 (98 人増)				
うち積立 (4 月 19 日)		2,243 人 (60 人増)				
投資パフォーマンス	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
コモンズ 30 ファンド (税引前分配金込み)	10.16%	22.15%	51.21%	44.28%	28.04%	85.05%

今月の5銘柄について

コモンズ30ファンドでは投資先のことを、より理解していただくため、毎月投資先銘柄の中から任意に5銘柄を紹介させていただきます。今月の5銘柄とコモンズが考える銘柄選択の視点は以下のとおりです。

銘柄	選択の視点
クボタ (6326)	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与 長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
ホンダ (7267)	夢と技術で、難局をチャンスに変える お客さまに自動車のみならず、夢の詰まったモビリティ（移動体）を適正価格で提供しています。歴史的に難局に強く、創業から脈々と流れるチャレンジ精神で、持続可能な成長を遂げています。
旭化成 (3407)	伝統企業の事業転換 化学繊維事業から医薬・エレクトロ事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓が世界第2位、リチウムイオン電池セパレーターは世界第1位です。
クラレ (3405)	真似できないアナログ化学会社 製造技術が必要で、他社が真似し難い製品を作っています。液晶の偏光板に用いられるポパールフィルム、自動車用ガソリンタンクに用いられるエパールなどでは、圧倒的なシェアを誇ります。
カカクコム (2371)	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける 価格.com(家電比較サイト)、食べログ(レストラン口コミサイト)など、利用者 3,000 万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、旅行、不動産、映画など、新規領域での事業開発が期待されます。

コモンズ30ファンドのリスクおよび手数料などについて	
リスク	当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。
購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
信託報酬	ファンドの純資産総額に年1.2075%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.105%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。
設定日等	当ファンドの設定日は2009年1月19日、決算日は毎年1月18日です。

* リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

セミナー・オープンオフィス情報

コモンズ投信では、『対話』というキーワードを大切にしています。コモンズ30ファンドを支えてくださる皆さま、一緒に成長していこうとする皆さまとともに考えるセミナーを、随時開催していきます。加えて、お客さまが気軽にオフィスへお越しいただけるよう、オープンオフィスの機会もございます。お気軽に遊びにいらしていただき、ご要望やご不明な点は何なりとおっしゃっていただければ幸いです。

「はじめてのコモンズ」：コモンズCEO：伊井哲朗がやさしくご説明します。	
日時/場所	5月13日（月）19時-21時・28日（火）13時-15時 @当社オフィス 定員：10名/会費：無料
「コモンズくつろぎBAR」：一緒に楽しく飲みながら交流しましょう。	
日時/場所	5月15日（水）18時-20時 @当社オフィス 定員：10名/会費：無料
「企業との対話」ワークショップ～統合レポートを読み解く：オムロンさんをむかえて～	
日時/場所	6月13日（木）19時-21時 @東京21Cクラブ・コラボレーションスペース 定員：40名/会費：1,000円（当社で口座をお持ちのお客様は無料）

◆当社社長：伊井哲朗の新刊書ご紹介◆

～「普通の人」が「日本株」で年7%のリターンを得るただひとつの方法～

* 講談社刊：1,300円・全国主要書店で発売中*

「将来が不安」と考えるあなたへ。「儲かったのはアベノミクス相場の時だけ」にならないために、今やるべきことは・・・。

- ・日本に長期運用を託すに値するファンドが少ないのはなぜか？
- ・「分散投資をすれば大きな損をすることはない」？
- ・「ファンドはインデックス型が合理的」は正しいのか？
- ・・・・こうしたみなさまの疑問に明解にお答えしています。

関連イベント・キャンペーンも検討中ですので、どうぞ当社ウェブサイト等をご注目ください！

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

お問い合わせ先

コールセンター

電話：03-3221-8730（平日9時～17時）

メール：commons-call@commons30.jp

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第2061号

加入協会 一般社団法人投資信託協会